

(様式1)

ながのまちづくり活動公開審査申込書

申込年月日	平成25年1月31日	受付番号	3
活動部門・コース	1 企画・研究部門	2 実践活動部門	① ホップコース (スタート 枠) ② <u>ホップコース</u> ③ ステップコース ④ ジャンプコース
団体の名称	(フリガナ) NPO 法人 ナガノトシケイエイケンキュウジョ NPO 法人 長野都市経営研究所		
団体の所在地			
代表者	(フリガナ) イチカワ コウイチロウ 氏名 市川 浩一郎		
連絡先 (連絡責任者)			
団体の設立年月日	平成13年10月4日 (NPO 法人認証日)		
団体の 設立目的	長野市の「住みよい元気な街づくり」の実現に向け、中心市街地の活性化・ 観光振興・地域スポーツ振興・中山間地との連携等について幅広く積極的 に提言を行うとともに、主体となって実践活動を行うことを目的とする。		

<p>団体の活動実績</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長野市及び市の外郭団体（ながの観光コンベンションビューロー・まちづくり長野等）への積極的提言と諸活動への参画 2. 「ここ掘れ！長野調査隊」活動による新たな長野の魅力の再発見 3. 「門前まち花遊歩」の実施による伝統文化の継承活動と中心市街地の活性化とシビックプライド（地域への誇りと愛着）の醸成 4. 「採りたて野菜市」「りんごの木オーナー制度」活動による中山間地（農村）と市街地との連携による地域起し 5. 「AC 長野パルセイロ支援活動」「ユースオリンピック誘致活動」等スポーツ振興による地域活力の醸成 6. 大規模講演会（年2回）や小講演会（わいがやサロン／月1回）の開催による最新情報の提供と市民交流機会の提供 7. B C P（Business Continuity Plan）の調査研究活動と提言
<p>構成員（会員）数</p>	<p>99名（長野を拠点とする企業の代表者）</p>
<p>応募する活動のタイトル</p>	<p>「門前まち花遊歩」～牛に引かれて善光寺参り イベントの実施</p>
<p>応募する活動の目的及び達成目標</p>	<p>（現在の地域や社会の問題・課題と応募する活動の目的）</p> <p>現在、当所では“観光母都市ながの”を活動の基軸に置き、長野を基点とした「滞在型」観光の振興を目指して活動している。具体的には、長野を基点とした広域観光ルートや歴史・自然・文化・祭り・スポーツ等テーマ別の観光ルートの策定に取り組んでいる。身近な活動としては「ここ掘れ！長野調査隊」による路地裏等の長野の隠れた魅力の再発見や月例の「わいがやサロン」開講による地域の伝統・文化の継承、またスポーツ振興支援による長野への観光客の呼び込み、「りんごの木オーナー制度」の継続実施による県外顧客との交流機会の増大等幅広い活動を行っている。</p> <p>今回の「門前まち花遊歩」イベントも、“観光母都市ながの”の基軸に沿って、観光振興の一環活動として行うもので、当所の全ての活動と関連性を持っている。本イベントの目的は次の三つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在長野は駅周辺に商業が集積し、昭和通⇄権堂⇄大門間の表参道界限に寂れがみられる中、石畳化の整備を一つの契機として本イベント開催により中心市街地の活性化を図る。 2. 秋の長野にとっての魅力あるイベントを行い、観光客誘致に繋げる。 3. 牛に引かれて善光寺参りの故事に習ったイベントを開催することで、長野市民が、善光寺門前町・長野により誇りと愛着を深め、観光地として一番重要な「おもてなしの気持ち」を再確認・醸成させる。 <p>長野市の活力を維持発展させ、観光交流人口の増加・定住人口の増加を図るべく、長野の魅力をもっと高めるため、本申請をします。</p> <p>（応募年度の達成目標）</p> <p>観光振興＝消費拡大＝都市・中心市街地の活性化が目標であるが、将来的には本イベントを他地域のイベントと連携させ滞在型イベントに拡大させる。そして秋の長野の名物イベントとして定着させ、多くの県外観光客誘致に繋げる。また、長野市民にとっての「シビックプライド（郷土愛）」をより醸成させる。</p>

<p>応募する活動の 具体的内容</p>	<p>※実施項目、場所、対象者など 牛を先頭にして、石畳化された表参道を、着物姿の女性 100 人が、秋の爽やかな風に吹かれて散策する。昨年 9 月に試行的に実施したが、多くの観光客から、「善光寺・牛・女性の着物姿」の艶やかな組合せに新鮮な驚きと感動の声が聞かれた。本イベントの具体的内容は次のとおり。</p> <p>① イベント内容 TOiGO 広場から女性 100 名と牛が善光寺に出発→（表参道を散策）→善光寺山門に到着（答礼）→宿坊にて精進料理を味わう→大本願にて雅楽を鑑賞する→善光寺界隈を散策する→解散</p> <p>② 参加者：（牛）一頭 一花で装飾 （一般参加）着物姿の女性 100 人 （善光寺聖）長野市長・長野商工会議所会頭・NUPRI 理事長</p> <p>③ 参加費：精進料理代として 1, 0 0 0 円を予定</p> <p>④ その他：当日は、軽トラ市及び表参道秋まつりが中央通りにて同時開催される。イベントとしての相乗効果が期待される。 また、当所では農村と市街地との連携を強め、観光資源の一つとして毎週月曜日に「採りたて野菜市」を主宰し、市民や観光客に新鮮な野菜・果物を提供している。当日はこの「採りたて野菜市」を大規模化して開催する。このように複数イベントの同時開催により観光客の誘致に寄与するものと考え。</p>
<p>年 間 計 画</p>	<p>4 月 善光寺事務局・大本願雅楽会との打ち合せ</p> <p>5 月 表参道秋祭り実行委員会及びながの軽トラ市実行委員会との打合せ</p> <p>6 月 チラシ・ポスターの作成</p> <p>7 月 参加者募集開始（信毎「WAの会」、商工会議所等関係団体との連携）</p> <p>8 月 参加者募集活動（新聞広告・表参道商店街への個別訪問・ポスター掲示）</p> <p>9 月 参加者最終確定・マスコミへのプレスリリース</p> <p>10 月 10 月 6 日（日）午前 10 時 ～ 午後 3 時（予定）</p> <p>11 月 報告書「わいがや通信・特別号（門前まち花遊歩）」の発行</p> <p>12 月 定例理事会での総括及び来年度の本イベント企画の承認</p> <p>1 月 来年度の助成金申請作業 他地域との連携イベントの模索</p> <p>2 月 県外客への PR 方法の本格検討</p> <p>3 月 善光寺事務局との概略事前打ち合せ</p>

<p>活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果</p> <p>※「公益性」の視点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長野市は善光寺を中心とした門前町で、年間観光客も通常年度で6百万人になる。そのメインストリートは長野駅→善光寺の表参道であり、長野の観光の要所である此処に焦点を定めてイベントを行う。それにより街が賑わい、引いては中心市街地の再生・活性化に繋がる。 2. 今回のイベントを通じ、長野市民が、ながのの魅力や伝統・歴史・文化、そして、「WA（輪・話・和）」の大切さを再認識し、自らが住む地域に誇りと愛着の気持ちを高め、「おもてなしの気持ち」の醸成に繋げる。 3. 県内外にPRを行い、観光客誘致のツールとして育てることにより、“秋の長野の一大イベント”として定着させることが可能である。
<p>活動を継続するための取り組み（資金面、人材等）</p> <p>※「自立性」の視点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資金面では、今回から一部参加者負担（精進料理代）とするが、残額は、NUPRIの会員会費と長野市助成金で賄うことによって、イベント内容の充実・規模の拡大を図り、多くの観光客を呼び込める魅力あるイベントに高める。 2. 人材面では、NUPRIの会員及び商工会議所、ながの観光コンベンションビューロー、善光寺寺務局、「WAの会（信毎）」等の協力体制で対応する。
<p>翌年度以降の活動内容の概要</p>	<p>翌年度</p> <p>本イベントを通して、地域の皆様や県外観光客への「定着」を図り、観光客の誘致促進、中心市街地、特に表参道沿いの商店街の再生・活性化に寄与する。なお、3年目以降は、県外へのPRによる働き掛けを強めて、県外観光客の皆様にも参加していただき、一泊泊まりの、広域的なイベントに育てていくことを考えている。</p> <p>（例）一日目：松代・須坂・上田等の地域いずれかで着物でのまち歩きイベントへの参加（夜は近隣の温泉か宿坊にて宿泊） りんご狩り・野菜掘り・稲刈り等体験型観光及び現在NUPRIが主宰しているりんごの木オーナー制度活用（同上）</p> <p>二日目：牛に引かれて善光寺参り（門前まち花遊歩）</p> <hr/> <p>翌々年度</p> <p>同上</p>

<p style="text-align: center;">事業の 最終目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当所は現在、観光客の多様なニーズに対応するため、ジャンルを絞った観光ルートの新たな開拓にも取り組んでおり、本イベントは正に「歴史・文化」に焦点を定めたイベントであり、すこぶる参加者受けやメディア受けがいいイベントである。“着物での街歩き”を他地域（須坂や松代）と連携して複数日開催し県内外観光客にとっての秋の滞在型イベントの目玉とする。 2. 昭和通⇄権堂⇄善光寺間の表参道は現在石畳化され門前まちらしく大変雰囲気の良い通りとなっている。しかし全国的にはまだそれが充分ではない。このイベントを県外に発信し観光客を呼び込むことにより全国メディアの取材も呼び込む。そして“お洒落な門前まち・長野”を全国的に周知することにより長野の中心市街地活性化をより図っていく。 3. このイベントを通じて、長野市民が「ながの」の伝統・歴史・文化を再認識し、地域に誇りと愛着を持ち、併せて「おもてなしの気持ち」の更なる醸成を図る。また善光寺の門前まちとしての長野の「観光都市」としての更なるレベルアップを図る。
---	---

必要経費

(単位 円)

科 目	金 額	
謝金	430,000	
旅費交通費	0	
印刷製本費	160,000	
広告宣伝費	240,000	
精進料理費	200,000	
使用料	150,000	
消耗品代	30,000	
警備費	30,000	
合 計	A 1,240,000	

自己資金

名 目	金 額	
会費	200,000	
寄附金・協賛金	0	
参加者負担金	100,000	
事業収益金	0	
合 計	B 300,000	

補 助 金 要 望 額 (C)	C = A - B
※補助割合・限度額 【企画研究部門】 Aの金額以下、ただし10万円以内 【実践活動部門】 (スタート枠) A×0.8の金額以下、ただし50万円以内 (ホップ) A×0.8の金額以下、ただし100万円以内 (ステップ) A×0.6の金額以下、ただし60万円以内 (ジャンプ) A×0.4の金額以下、ただし40万円以内	940,000 円 (千円未満切り捨て)